

「リーディングプロジェクト」の成果

プロジェクト1

農業の復活

●農業の「新しい光」

平成22年から新規就農者の確保・支援を始めて3年が経過しました。現在、町が支援する新規農業従事者は27人となっています。町は地域・JA・農業委員会・県の協力を得て、就農者と共に悩み、共に苦しみ、一步一步、就農への道を進んできました。支援者の中で特徴的な就農している方を紹介します。



相馬信行さん(37歳・静岡から・新田)
1年の研修を終え、今年4月にキク農家として独立。農業経営に新風を吹かせようとしている。



亀井裕介さん(32歳・茅野市在住)
町が農業法人への就職を仲介した第1号。法人で農業経験を積み、独立を目指す。



河角道弘さん(56歳・机)
会社を早期退職しUターン。4月から営農開始。カーネーション1,000箱の出荷を目指す。



関 晃さん(43歳・松本から・立沢)
町支援の第1号者も昨年5月にキク農家として独立。地域にも定着し、栽培技術も安定する。



迎 弘樹さん(30歳・東京から)
今年4月から立沢で2年間の研修をスタート。里親さんの指導で一流キク農家を目指す。



岡部良和さん(43歳・静岡から・新田)
1年の研修を終え、今年4月にキク農家として独立。8人家族で協力し、経営安定を目指す。



久保芳一さん(29歳・愛知から・乙事)
農業法人の研修を経て、昨年12月に独立。3haのレタス生産で売上2000万円が今年の目標。



五味丈始さん(37歳・乙事)
後継者として平成22年に経営を開始。親の経営基盤を継ぎ、新たな生産に取り組む。



植松高浩さん(27歳・立沢)
後継者として平成23年から本格的に父親と経営を開始。生まれ育った大地を耕すことが喜び。



姫野由紀さん(京都から・高森)
バラ園の経営を平成24年に継承し経営者に。地元住民12人を雇用して経営している。



西島正恵さん(大阪から・蔦木)
町内法人に勤務しながら、バラ生産で独立を目指す。女性感覚で花づくり。



黒坂亮輔さん(31歳・埼玉から・立沢)
研修2年目で来年4月に独立。アスパラを中心に今年はパセリ生産も研修する。



平井善貴さん(32歳・埼玉から・立沢)
今年4月から立沢で研修開始。夫婦でブロッコリー農家を目指す。

【お願い】

新規就農者の独立には経営基盤の確保が重要です。新規就農者の中には農地と労力が不足している方がいます。空き農地と農作業に協力していただける方(雇用者)の情報をお寄せください。

問 産業課 営農推進係 ☎62-9328

プロジェクト2

観光の強化

●観光客の増

平成22年4月28日に山梨県北杜市、長野県原村、富士見町で構成する「八ヶ岳観光圏」が国土交通大臣の認定を受け、連携して2泊3日以上滞在交流型観光に対応できるよう、観光地の魅力づくりに取り組んでいます。



○新観光圏に認定

平成24年12月27日に改正した「観光圏の整備による観光旅客の来訪および滞在の促進に関する基本方針」に基づき、新たに観光圏整備事業を実施する観光圏として、平成25年4月1日に全国で6地域が観光圏整備実施計画の認定を受け、その内1地域に「八ヶ岳観光圏」が選ばれました。

八ヶ岳観光圏のコンセプト「1,000mの天空リゾート八ヶ岳 ～澄みきった自分に還る場所～」のもと、「住んで良し、訪れて良し」の滞在型観光地域を目指します。

【平成24年度事業】

○八ヶ岳高原花めぐり事業

八ヶ岳観光圏の特色である「花」の魅力をより広く知ってもらうため、スタンプラリーを取り入れた花の名所やオープンガーデンなど、花にまつわる案内パンフレットを作成し、観光PRと観光客の圏域内での周遊を促進しました。

○鉢巻周遊リゾートバス

圏域内の各エリア間の移動や、主要な観光箇所間の移動の利便性を向上させるため、7月中旬～8月下旬の37日間、鉢巻道路を経由して小淵沢駅から原村までの観光施設を回るリゾートバスが運行しました。

○観光地利用者統計調査（長野県）より

平成24年 723,700人（平成24年 1/1～12/31）前年比104.9%

平成23年 690,100人（平成23年 1/1～12/31）

プロジェクト4

福祉の充実

●「赤とんぼ」の移転



野菜販売の様子

地域活動支援センター「赤とんぼ」が7月15日役場上に移転しました。

赤とんぼメンバーが、薪の販売や古紙等資源回収、野菜作りなどを通じ地域のみなさと交流を深め、地域の中で安心して暮らせる町の活動拠点として新たなスタートを切りました。

問 地域活動支援センター 赤とんぼ ☎61-2310

プロジェクト3

パノラマの再生

●パノラマスキー場利用客の増



すずらん公園



若者でにぎわうスキー場

夏季シーズンの入笠すずらん公園の整備や、冬季のスキー営業日の早、長期化により増客につながりました。

年間利用人数の増

	現状値(平成23年)	現状値(平成24年)
夏季	77,722人	95,614人(17,892人増)
冬季	128,481人	136,695人(8,214人増)